No. 217
令和８年
11月15日
発行
群馬県・中之条町議会

議会だより なかのじょう

あなたと議会をつなぐ情報誌

中之条町議会HP



表紙の場所はどこでしょうか？
正解は裏表紙に…

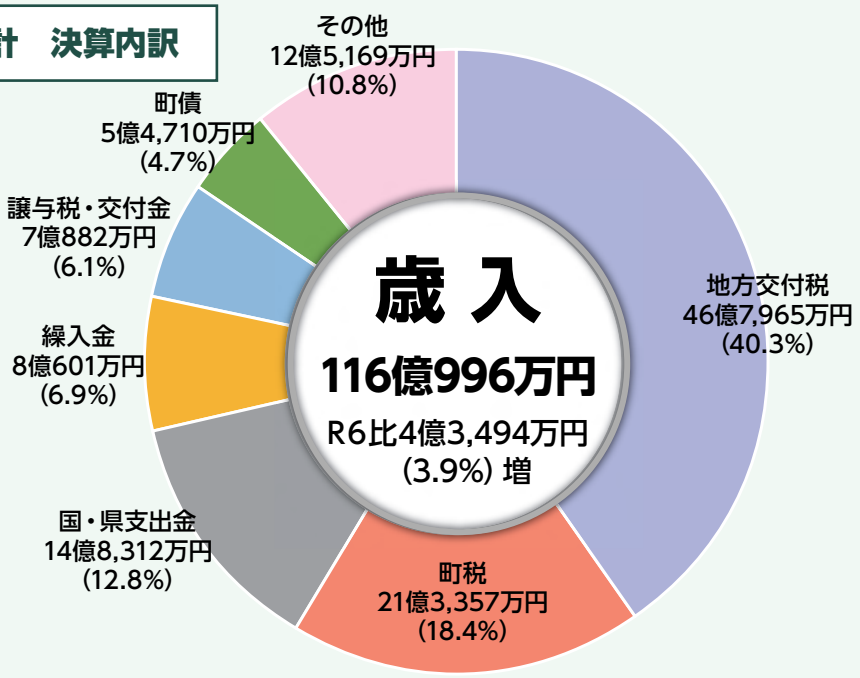
目　次

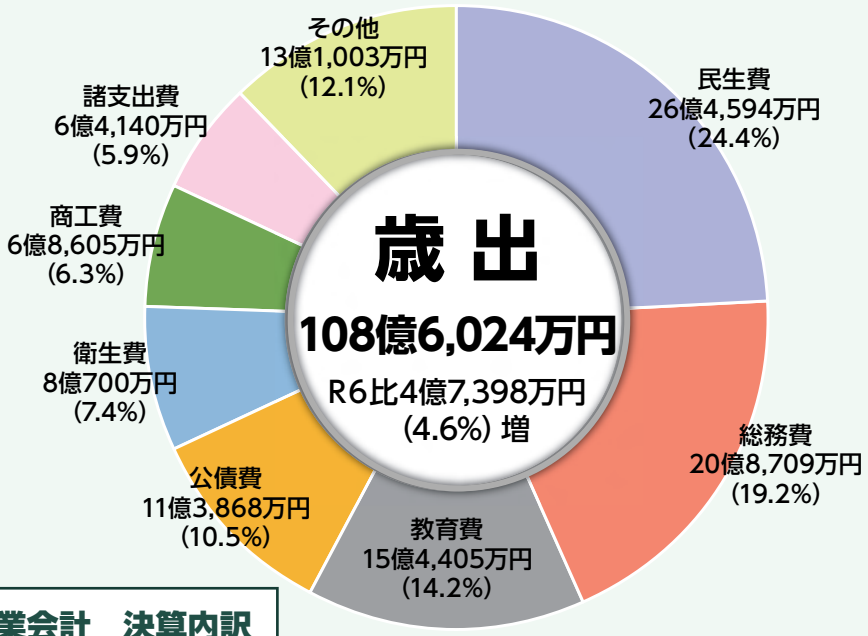
- ９月定例会議 …… P２～P６
- 常任委員会 …… P７～P９
- ６名の議員が一般質問 …… P10～P13
- 議会の主な活動・編集後記 …… P14

7年度決算を承認

９月定例会議は、２日から17日までの16日間の審議期間で開かれました。３日には６人の議員が一般質問を行いました。決算認定のほか、補正予算、条例の一部改正など町長提出議案14件、１件の承認を審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、６件の報告がありました。そのほか、請願２件の審査・採決を行い、意見書の提出２件が可決されました。代表監査委員からは各会計の決算について、決算審査報告をいただきました。

一般会計　決算内訳





特別・企業会計　決算内訳

	会計名	歳入	歳出	差引金額
特別会計	国民健康保険	18億9,319万円	18億2,995万円	6,324万円
	後期高齢者医療	3億2,077万円	3億2,011万円	66万円
	介護保険	19億6,930万円	17億9,045万円	1億7,885万円
	四万へき地診療所事業	7,557万円	6,482万円	1,075万円
	介護老人保健施設ゆうあい荘事業	5億8,583万円	5億8,294万円	289万円
	発電事業	4億1,462万円	3億4,449万円	7,013万円

	事業名	事業収入	事業支出	特別損失	当年度純利益(純損失)額
企業会計	自動車教習所	9,705万円	8,881万円	—	824万円
	上水道	2億4,232万円	2億1,886万円	—	2,346万円
	簡易水道	1億485万円	1億764万円	—	▲279万円
	六合簡易水道	6,773万円	6,678万円	—	95万円
	下水道	5億1,161万円	4億4,084万円	—	7,077万円
	農業集落排水	3億348万円	2億2,488万円	—	7,860万円

※表示単位未満を四捨五入しているため、差引金額・当年度純利益（純損失）額が一致しない場合があります。

監査委員の意見（抜粋）

令和７年度に予定された事業も令和８年度へ繰り越された事業を除いては円滑に執行されており、各会計の決算は正確かつ適正に処理されていることを確認しました。

〇一般会計

令和７年度においては、翌年度繰越事業費４億７１７６万円を除くと、予算執行率は96・66％となっており、適切な行財政運営がなされたものと思います。

〇特別会計

各特別会計では、それぞれの事業目的の達成に向けて事業を実施しており、各会計とも実質収支等の実績からも健全な運営がなされているものと判断します。今後も引き続き健全な特別会計の事業運営を期待するものであります。

〇企業会計

自動車教習所事業、上水道事業、簡易水道事業、下水道事業、六合簡易水道事業、農業集落排水事業の６事業ともに、近年における人口減少社会や高齢化、生活様式の変化、長引く物価高騰の影響を受けつつも、財務諸表においては透明度の高い内容で、意欲的に健全な経営に取り組む姿勢がうかがえました。

★監査委員とは？

監査委員は、地方自治法で定める執行機関のひとつです。定期的に町の行財政について監査を行うほか、毎月の出納検査、年１回の決算審査などを実施して、町民のみなさんや議会などにその情報を提供しています。

監査は「貴重な税金が無駄遣いされていないか」など町の行政運営全般をチェックするしくみです。

決算に関する質疑（抜粋）

原沢香司議員　企業版ふるさと納税をされた８件の企業の業種と金額は。

答　金額は合計で３４０万円です。業種は建設業、サービス業、金融業などです。寄付額は10万円から１００万円でした。県内の企業が２件となっています。

原沢香司議員　今後上水道料金、下水道料金を値上げする予定があるか、経営指標や財政収支の見通しから説明を。

答　上水道事業会計並びに下水道事業会計につきましては、経営の健全性を示す経常収支比率が、健全経営の水準とされる１００％を上回っており、現状健全な運営ができていると思っております。しかし、昨今の急激な物価高騰、人口減少による料金収入の減少に加え、施設の老朽化による支出が増加しており、経費削減を行っていますが、経営は厳しくなる見通しです。料金改定につきましては、今後の状況を見ながら慎重に検討していかなければならないと考えております。

福田公雄議員　共創のまちづくり補助金の交付実績は２件とあるが、どのような事業に対して行われたか。

答　補助金の交付先は県立吾妻中央高校と中之条町情報発信委員会です。１件目は吾妻中央高校による地域活性化を図る事業です。新たな地域の名物を目指し、様々な主体と共同して食品の開発を行い、開発した食品を町内外でのイベントなどに参加して、活動などをＰＲします。２件目は、未来戦略ミーティングの公募委員ＯＢの町民で構成された団体である中之条町情報発信委員会による行政情報と民間情報をわかりやすく整理した地域のポータルサイトを構築するという事業です。町の課題である情報発信について、官民が協働してプラットホームを検討、構築し、住民参加型で運営することにより町内に散在する情報を取りまとめるものです。

山本　修議員　がんの早期発見、早期治療にがん検診は大変有効であると思う。令和７年度のがん検診事業の決算額が令和６年度を１７４万円ほど上回ったのは委託費の増額か、それとも受診者の増加なのか。

答　７年度の決算額が増額した主な要因は次の３点です。第１に委託料の増額です。第２に受診者の増加です。胃がん検診のうち内視鏡の検査が13人の増加、乳がん検診が66人の増加となっています。第３に健康管理システムに関わる副本登録のシステム改修の業務委託料55万円を支出していることによるものです。



割田三喜男議員　耕作放棄地草刈補助金について、21万5300円の決算額だが、地域別耕作策放棄地面積と補助事業対象面積はどうか。

答　地域別耕作放棄地面積は、中之条地区28・39㌶、沢田地区155・31㌶、伊参地区129・14㌶。名久田地区163・05㌶、六合地区118・69㌶合計594・6㌶です。補助対象面積は、中之条地区37筆3・43㌶、沢田地区4筆0・44㌶、伊参地区3筆0・1㌶、名久田地区2筆0・1㌶、六合地区実績なし、合計46筆4・18㌶となります。所有者から実施者への委託金の合計は、52万1887円です。

山田みどり議員　がん検診受診率の目標は。

答　3年に一度、国民生活基礎調査を全国民にしており、そちらでがん検診を受けているかという質問項目があります。それは町のがん検診だけでなく、任意健診等も含めていますが、群馬県では40％から50％を超えております。ただ、全国的な目標値として60％を掲げているため、目標に比べ低い状況です。がんの早期発見が医療費の削減にもなると思いますので、今後も周知していきます。また、要精密検査になった方がまた来年受けるからと断るケースもあります。そういう方への受診の勧奨なども課題になっているため、対応について検討していきたいと思います。

関　美香議員　ヤングケアラーの実情把握については学校現場との連携を考えているとのことだが、具体的にどのような連携を考えているのか。

答　学校などから気になる事例や相談が必要と思われる事例などが寄せられた場合には、守秘義務、個人情報保護などを十分に配慮した上で、関係機関等を交えたケース会議等を開催して、状況支援方針の共有をしてまいりたいと思います。その上で、本人や家庭の困り感が適切に相談につながるよう関係機関と連絡し、必要な支援につなげてまいりたいと思います。

関　美香議員　ヤングケアラーの実態把握において、学校現場以外に考えている方法があるのか。

答　保健センターで実施している各種健診や健康相談、あるいは家庭訪問などの場において、家庭状況の把握につながる情報を関係機関で共有できるよう整備をしたいと思っております。また、保育所、幼稚園、こども園等とも連携して、日常の関わりの中で把握した気づきがあった場合に、適切に相談につながるようにしていきたいと思っております。ヤングケアラーという概念がまだ十分に知られていないというところがあるかと思います。相談先も十分に知られていないということも想定されることから、広報等を通じて周知啓発を行って、当事者、保護者が相談することに抵抗がないような環境づくりを進めてまいりたいと思っております。



公営事業に係る利益剰余金処分について

上水道事業、下水道事業、六合簡易水道事業、農業集落排水事業の利益剰余金を積立金として処分する公営事業に係る利益剰余金処分も併せて審議しました。

会　計　名	利益剰余金	積立金の内訳	
		減債積立金	建設改良積立金
上水道事業	4億532万7,156円	2,000万円	2,000万円
六合簡易水道事業	145万6,462円	—	145万6,462円
下水道事業	7,077万1,836円	3,577万1,836円	3,500万円
農業集落排水事業	7,860万4,291円	3,960万4,291円	3,900万円


定例会議２日目（一般質問：9月4日）の傍聴席

補正予算

◎一般会計補正予算（主な事業）

事業名	補正額	主な内容	予算総額
役場庁舎管理事業	2,233万円	外部改修に当たり要補修箇所の増加、スロープの常設化などの修繕工事費	110億7,069万円
有害鳥獣対策事業	345万円	緊急銃猟実施時の消耗品、装備品の購入、補助金の増額	
ふるさと交流センターつむじ運営管理事業	204万円	テナント店舗入替による修繕費の増額	
町単独道路維持事業	220万円	支障木の伐採に係る委託料の増額	
スクールバス運営事業	253万円	冬用タイヤ購入の増額	
上水道事業会計補助金	1,206万円	水道料基本料金の免除期間2ヶ月間延長分に対する補助金の増額	

◎特別会計補正予算

会計名	補正額	主な内容	予算総額
介護保険	5,360万円	令和7年度の介護給付費等の額の確定によるものなど	19億7,160万円

◎企業会計補正予算

会計名	補正額	主な内容	予算総額
自動車教習所事業	224万円	高齢者講習用群馬県証紙売上、買受額の増額	9,565万円
上水道事業	44万円	基本料金免除期間2ヶ月間延長による収益の減額及び補助金の増額、水道料金会計システム改修費の増額	2億4,585万円
簡易水道事業	29万円		1億3,003万円
六合簡易水道事業	33万円		7,473万円

条例改正

○以下は、国が、土地改良事業等によって造成された施設の突発的な事故が生じた場合における機能回復と事故の未然防止を図り、農業被害と地域への被害を防止し、農業経営の安定を目的とする「土地改良施設突発事故復旧・防止事業」を整備したことに伴い、改正します。

★町における群馬県営土地改良事業の費用の一部を負担する分担金徴収条例の一部改正

・これまでの分担金を徴収する計画事業や災害事業では、所有者との調整や承諾に時間がとられるため、早急に復旧又は防止工事がしにくい面がありましたが、費用負担割合を事前に国、県及び町において確認書に定めることにより、団体等の負担を無くし、早急に事業を実施できることとなります。

★町営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正

・町が施行した土地改良事業についても、費用負担割合を事前に国、県及び町において確認書に定めることにより、団体等の負担を無くし、早急に事業を実施できることとなります。

○以下は、それぞれ関係法令の改正に伴い、町条例の整備を行います。

★町議会の保有する個人情報の保護に関する条例の一部改正

★町印鑑条例の一部改正

★町景観条例の一部改正

★町公共下水道の構造及び維持管理技術上の基準に関する条例の一部改正

人事案件

★教育委員会委員の任命

・教育委員会委員の石田優子さんが9月30日に任期満了になりますが、引き続き同氏を任命するものです。任期は10月1日から4年間です。

専決処分の承認

・文化財防火デーでの通水準備で配管を詰まらせ、給湯器３台を故障させたことについて、町側の過失１００％で和解した専決処分を承認しました。

報告

★一般財団法人中之条電力の経営状況に関する書類の報告

・令和７年度事業報告書及び決算報告書、令和８年度事業計画及び収支予算書が提出されました。

★株式会社中之条パワーの経営状況に関する書類の報告

・第11期の事業報告書が提出されました。２２８４万円の当期純利益が計上され、業績の改善は着実に進んでいます。

★専決処分（工事変更契約）

・赤岩湯本家住宅主屋改修工事について、令和８年度の完成に向けて、渡廊下の出入口建具工事や、土戸・開口部の左官工事、排水・土留め工事などを実施するために、１２６万５千円を追加し、１億７５９４万５千円で変更請負契約を締結したことが報告されました。

★専決処分（物損事故の和解）

・車がスリップして稲を踏んだもので、町側の過失１００％で和解が成立したことが報告されました。

請願・陳情

★請願第１号

草津町における一般廃棄物及び産業廃棄物の処理施設（管理型最終処分場）建設計画の不許可を求める請願

（概要）

計画地は私たちの生活用水や農業・漁業用水の源流にあたる非常に重要な地域である。

万が一有害物質が地下水や河川に滲出した場合には取り返しのつかない健康被害や農業・漁業・観光産業への壊滅的な実質被害と風評被害をもたらす。また、貴重な生態系や、山紫水明な中之条町の自然環境が破壊される恐れがある。

今回の処分場の建設計画は私たちの従来の生活を根底から覆すことであり、到底容認できない。群馬県知事に対し、これを不許可とするよう意見書の提出を求める。

委員からの意見抜粋

・水道の水源として使っている立場からすると、絶対に採択をする必要があると思う。

・古くからその場所に暮らして、苦労して水を得てきた人々の暮らしを守ることが第一であると思うので採択が妥当だと思う。

採決の結果：採択

※「草津町における一般廃棄物及び産業廃棄物の処理施設（管理型最終処分場）建設計画の不許可を求める意見書」を提出しました。

★請願第２号

地方財政の充実・強化に関する請願

（概要）

いま、地方公共団体には、極めて多岐にわたる役割が求められている。しかし、地域公共サービスを担う人員は不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化している。

物価高騰や行政コストの増大、慢性的な人員不足を踏まえると、今後も引き続き一般財源総額の確保が求められる。

２０２７年度政府予算また地方財政の検討にあたって、賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう求める。

委員からの意見抜粋

・国全体に関わる地方公共団体に必要かつ大切な請願要望であると思う。

・社会保障の充実や地域活性化など、地方財政の充実と、財政の深刻化は喫緊の課題であり、活力ある地域社会の実現のためにも、提出に賛成する。

採決の結果：採択

※「地方財政の充実・強化に関する意見書」を提出しました。

【請願・陳情審査報告】

受理番号	件　名	請願者	委員会審査	本会議採決
請願1	草津町における一般廃棄物及び産業廃棄物の処理施設（管理型最終処分場）建設計画の不許可を求める請願	中之条町六合中部地区の命と水・環境を守る会 代表　篠原　道太郎 六合7区区長　市川　恵二 六合8区区長　湯本　光夫 六合9区区長　中山　穣 六合10区区長 中澤やす子	採択	採択
請願2	地方財政の充実・強化に関する請願	日本労働組合総連合会 群馬県連合会北部地域協議会 議長　渡邊　春彦	採択	採択

総務企画

開催日　令和8年9月7日
委員長　関　美香
副委員長　山本　修
委員　安原賢一
福田弘明
佐藤力也

決算認定について

福田弘明委員　**給水車を購入されたが、クラウドファンディングで499万円ほど寄付があったということだが、一般町民からなのか、会社等からが多かったのか。出動回数はどのくらいあったか。また、クラウドファンディングをやってみての感想は。**

答　寄付の内訳は企業が多いという感じを受けます。給水車の出動回数は0件です。8月の大網白里市の豪雨災害の時に出動させようかと準備をしましたが、必要ないとのことで出動しませんでした。クラウドファンディングは、中之条町としては初めて行いましたが、（多くの寄付をいただき）防災関係も含めて（クラウドファンディングというものに対して）認識が深まっているのかなという考え方を持ちました。

山本　修副委員　**町のたばこ税が昨年度の減収分を上回る662万円の減収となったが、単にタバコを吸わなくなった人が多くなったということか。**

答　たばこ税の減収については本数が減ったということになりますが、令和4年度に増収となりましたが、その後年々減収が続き、たばこを吸う人が減ったという認識でいます。

福田弘明委員　**定住促進対策住宅取得費補助金の決算額が1845万6千円とあるが、何件で、どういった方が利用されたのか。町内の方か、町外からの移住者か。移住者は、若い世代の方か、リタイアされた方か。**

答　22件の利用があり、そのうち7件が移住の方です。この補助金を利用して家を建てて移住された方は19名です。その内、世帯主が65歳以上の世帯が1件で、他は64歳以下です。60代が1件、50代が2件、それ以外は40代以下となっており、若い世代に利用いただいていると思っています。

補正予算について

山本　修副委員長　**六合ケーブルテレビ等情報施設運営管理事業で100万円の修繕料が計上されているが、2年前にケーブルテレビの光化と耐震性強化工事、光ファイバーケーブルの早期更新等をしている。2年くらいで機器の修繕が必要になるのか。**

答　今回計上したのは伝送路の移設にかかる費用になります。例えば、NTTの電柱を移設した場合、そこにケーブルテレビが共架されているのでその移設が必要になります。NTTを5件、東京電力の電柱の移設を5件見ています。老朽化で壊れた修繕ではありません。

投票所の集約について

佐藤力也委員　**投票所の数を減らして選挙を行っているが、それに対しての町民の意見はあるのか。また、今後の取り組みはどのように進めていくのか。**

答　町民の方から意見といったものはありません。概ね投票率も同じくらいで推移しており、また、選挙によっては半数ほどが期日前投票をしている状態です。投票日当日は送迎用のバスを出していますが、ほとんど利用がありません。今後としては、暑い夏や寒い冬の選挙の際に空調設備がある投票所が理想だと思います。

避難所の予備電源について

佐藤力也委員　**避難所へのエアコンの設置は進んでいると思うが、停電時の予備電源の確保はどう考えているのか。**

答　避難所に指定している中之条小学校、中之条中学校の体育館には、ガスヒートポンプ空調施設を一昨年、昨年と設置いたしました。これは、電気のエアコンとは違い、蓄電機能があり1週間から数日間は運転可能となっています。電気と違いガスを導入することで避難所として有効であり、力を発揮するのではないかと設置いたしました。

請願審査

○「地方財政の充実・強化に関する請願書」の審査が付託され審議しました。

審議の結果、「採択」に決定しました。

文教民生

開催日　令和8年9月8日
委員長　大場　壮次
副委員長　原沢　香司
委員　小栗　芳雄
委員　冨沢　重典
委員　割田三喜男

決算認定について

冨沢重典委員　保育所幼稚園のあり方は検討を始めているとのことだが、給食センターについても老朽化や配食数の減少など検討すべきと考えるがいかがか。

答　施設の老朽化や少子化による食数の減少などにより、今後の給食センターのあり方について検討を始めているところです。例えば、中之条小学校給食センターと東部給食センターのどちらか一カ所だけでも可能なのか、施設や設備について調査が必要と考えています。また、六合給食センターについても六合中学校の事務委託に伴い食数が減ったため、含めて検討していきたいと考えています。

割田三喜男委員　ひとり暮らし老人に一声かける運動を民生児童委員協議会に委託して、818名に実施したとあるが、概要について教えていただきたい。

答　内容については、年間を通して声掛けをする、気にしていただくということと、年末に一斉に訪問をしていただき、年末の用足しにしていただくのに町の商品券をお渡しいただいています。訪問の際に出てきた相談ごと、お困りごとは民生委員・児童委員協議会で共有していますし、直接電話がかかってきて報告があるケースもあります。心配な案件がある場合は、包括支援センターや保健師、介護保険係と共有していくことになります。

原沢香司副委員長　7年度から始まった家庭支援事業の子育て世帯訪問支援業務について、ヤングケアラーに虐待リスクがある場合に訪問すると伺っている。実施件数は。

答　これまで訪問支援員による訪問を利用した方はありません。該当するかと思われる方に声掛けをしていただいています。ただ、ヤングケアラー自体がなかなか表に立って見えてこないので、必要な方に手が届くというところはまだまだ課題があると思っています。学校等とも連携をとり、実情を少しずつ把握していけたらと思っています。

補正予算について

冨沢重典委員　保育所幼稚園の会計年度任用職員のパートタイム職員の報酬が補正で上がっているが、職員数が増えたのか。

答　当初予算は前年12月時点で配置している職員数で予算計上していました。入園者数により職員の配置が決まるのでそれぞれの園所で異動が生じます。またフルタイムからパートタイムに切り替わるとか育休や産休など取得する職員も出たりします。そのように予算編成時とは変更になった過不足を補正させていただきました。

東谷風穴について

小栗芳雄委員　1号風穴の復旧工事が3600万円くらいで契約できたようだが、どういう意図で随意契約にしたのか。また、工期はいつまでか。

答　文化財はある程度知識を持った事業者でないと修繕ができないので、契約の相手先は町内で唯一その知識と経験を持っている事業者になるので随意契約としました。工期は、12月11日です。

合葬墓利用状況について

小栗芳雄委員　利用実績と利用者の内訳は。

答　14件の申し込みがあり、1件1人ではないのでお預かりしている骨壺は20件くらいになります。町内の方が11件、町外が3件ですが、この3件についても埋葬される方は町内の方となります。

請願審査

○「草津町における一般廃棄物及び産業廃棄物の処理施設（管理型最終処分場）建設計画の不許可を求める請願」の審査が付託され審議しました。

審議の結果、「採択」に決定しました。



9月4日に処理施設計画予定地（草津町）と六合の水源地を視察しました

産業建設

開催日　令和8年9月9日
委員長　山田みどり
副委員長　福田公雄
委員　劔持秀喜
委員　唐沢清治
委員　関常明

決算認定について

劔持秀喜委員　中之条ガーデンズについて、この1年間の赤字改善の内容と今年度及び今後収支改善に向けてどのような活動をするのか説明を。

答　令和7年度の取組みとして、入園料の改定を行い、令和6年度より増収していますが、入園者数は微増でした。また、委託費や印刷費等ランニングコストの縮減に取り組んできました。本年度は再度入園料の改定を行い、上限を200円としました。また、新しい取組みとして、7月から9月に入園料を払わなくてもショップと食堂が使えるフリープランを実施するなどしたこともあり、売上が増加しました。今後の取組みですが、9月のシルバーウィークにはワンワンウィークとして犬の入園を試験的に実施を考えています。また、来年度中之条ビエンナーレがありますので、作家さんに早めに入っていただいて展示をプレゼンしてもらう取組みもしたいと考えており、ディレクターと話を進めているところです。

福田公雄副委員長　チャレンジショップ出店支援が減っている一方で起業支援が大幅に増えている違いについてどのようにとらえているか。

答　起業支援金につきましては、5年以上継続して事業を行うものということが前提の補助金交付となっております。毎年、10から20件ぐらいの相談がございます。チャレンジショップにつきましては、件数的には昨年度と同じ12件ということでしたけれども、金額的には100万円近く減少です。起業支援につきましては、令和6年度が5件、令和7年度が6件ということで、件数的には1件増ですが、金額的には170万円ほど増となります。基本的に補助金の制度設計が違いますので、増減の違いを比較することは非常に難しいと思っております。どちらの補助金も町内の事業者による施工が条件であり、町内の事業者への活性化に繋がると考えますので、積極的に利用していただきたいと思っております。

福田公雄副委員長　道路施設長寿命化修繕計画事業で点検調査業務と橋梁補修設計業務が当初予算に比べ決算額が下回っているが、事業は計画通り執行できたのか。また、長寿命化計画全体として計画どおり進んでいるのか。

答　橋梁の点検調査32橋と補修設計2橋、予定通り実施いたしました。決算額が下回ったのは、予算要求後に精査したこと、更に入札の結果の減額であります。長寿命化計画としては、約270橋ある橋を5年に1回点検を行い、その結果により補修を実施しています。

補正予算について

唐沢清治委員　農業総務費に弁護士相談料が計上されているが、この使途は。

答　新規就農した農業者が途中で離農しました。そのような場合は、それまでに受け取った補助金を返還しなければなりません。町は、県を通じて国から補助金を受けており、すでに返還しています。本人には町が補助金を交付しておりますので町は本人に請求しているところです。本人の返済能力や返済する気概を感じられませんので、弁護士に依頼して訴訟を起こしたいということで弁護士に相談するための手数料になります。

関常明委員　道路管理委託料が上がっているが何を委託するのか。

答　支障木伐採委託費ということで計上させていただきました。8月現在で倒木処理が予想よりも多くなったので当初予算をほぼ支出してしまったため、台風の季節に向けて増額をお願いするものです。

清流の湯の運営について

劔持秀喜委員　清流の湯の休館が年中あるがどうなっているのかと町民の方から聞かれた。修繕等は伺っているが、これまで何度もあった休館の内容と現状、今後の見込みを教えていただきたい。

答　令和6年度に男湯浴槽の修繕工事、令和7年度にろ過器の更新工事、今年度に女湯浴槽の修繕工事を実施しました。このように大規模リニューアル工事は予算的な目途が難しいため、一括ではなく分割して工事を行いました。工事期間中どうしても休館にせざるを得ず、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。来年度は大きな修繕工事の予定はありませんが、施設が30年を経過しており、予期せぬ工事の発生はあるかもしれません。全体的な調整を四万温泉協会と協議をしながら来年度に向けて運営してまいります。

９月定例会議　議員６名が　一般質問

関（せき）　美香（みか） 議員
（☞11ページ）

- ●有害鳥獣対策について
- ●中之条ガーデンズについて
- ●子育て支援について
- ●教育環境について

佐藤（さとう）　力也（りきや） 議員
（☞11ページ）

- ●外丸町政４年間の成果と課題について
- ●各分野における今後の取り組みについて

割田三喜男（わりたみきお） 議員
（☞12ページ）

- ●共創のまちづくりについて
- ●地域公共交通計画について
- ●森林環境譲与税と森林経営管理制度等について

原沢（はらさわ）　香司（こうじ） 議員
（☞12ページ）

- ●これからの自治体運営について
- ●地域経済の活性化について
- ●自然保護と活用の今後について

山田（やまだ）みどり 議員
（☞13ページ）

- ●人口対策と町づくりについて
- ●幼児教育について

福田（ふくだ）　弘明（ひろあき） 議員
（☞13ページ）

- ●高齢者の移動手段について

記事では一般質問・答弁の一部を抜粋して掲載しています。（●を掲載）
全文はホームページからご覧ください
（二次元コードを読み込むと議員ごとの一般質問・答弁の全文がご覧いただけます）

◇ 議会を傍聴しませんか◇

議場入口の受付票に住所・氏名を記入していただければ傍聴ができますので、ぜひご来場ください。
なお、傍聴席に限りがあり、入場制限をする場合がありますので、予めご承知ください。

次回の定例会議は、12月９日（水）から21日（月）の予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、ホームページに掲載の直近の議会カレンダーで確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

中之条議会事務局　☎ 0279-75-8836

一般質問

クマ対策の充実を求める

町長－ＡＩなど新しい技術を活用し、対策を講じることが求められるので、調査・研究してまいります



関　美香 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

議員　目撃情報や追い払ったクマの追跡、また人間の生活圏へクマを寄せ付けないドローン活用について伺う。

町長　目撃情報を受けて、個体の把握を行うことや何度も目撃されている場所を予防的に警戒するなど「状況把握」として活用することや、クマの嫌がる音を発し、「追い払い」をすることも可能だと伺っています。

今年度、民間事業者が町内でドローンによるクマ追跡と忌避剤散布等の効果を探る実証実験を計画しておりますのでその結果を踏まえ、今後の活用に調査・研究をしてまいりたいと思います。

「中之条ガーデンズ」について

議員　上信自動車道の完成による影響を鑑み、ペット同伴入園の前向きな検討を。

町長　開園以来、園内環境の維持や来園者の安全・快適性などの観点から、ペット同伴での入園をご遠慮いただいていましたが、ペットも家族の一員として旅行などを楽しむ方が増え、「愛犬と一緒に入園できないのが残念」という声をいただいています。

そこで、本年９月19日から23日までの間、愛犬を同伴して入園していただく実証実験を行い、この結果や愛犬を同伴されないお客様からもご意見を伺い、今後のペット同伴入園のあり方を検討したいと考えています。

子育て支援について

議員　共働き家庭増加に伴い、長期休暇中の居場所づくりの充実が必要と考えるが見解は。

町長　既存施設の受け入れ状況やニーズを把握しながら関係機関・団体と連携し、長期休暇中の子どもの居場所の確保と充実に努めます。

教育環境について

議員　困り感を持つ児童生徒の多様化は、今後も続くと考えられ、きめ細やかな支援の充実が求められるが、見解は。

教育長　一人ひとりの状況や思いを丁寧に把握し、その子に合ったきめ細やかな支援が重要であると考えます。

外丸町政、今後の重要課題は

町長－町民の皆さんが「これからも住み続けたい」と思っていただける町づくりを進めます



佐藤　力也 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

今後の町づくりについて

議員　これまでの４年間を総括し、今後の町づくりではどのような施策に力を入れていく考えか。

町長　「子育てをするなら中之条町」「健康で元気に暮らせる中之条町」「安心安全に暮らせる中之条町」これらが町づくりの柱として大切であると考えています。そのためには、子育て支援の充実、健康増進施設を更に活用して各種運動教室などの展開による町民の皆さんの健康づくりを推進すること。また、老朽化したインフラの整備も重要であります。近年頻繁に発生する自然災害への対策や備えも待ったなしの政策であり、町民の皆さんに寄り添った町づくりの重要性を強く感じています。観光・農業・商工業といった各産業に対する支援も重要であり、先人が守ってきた温泉、自然・産業遺産など多くの観光資源を活かし伊参スタジオ映画祭、中之条ビエンナーレ、中之条まちなか５時間リレーマラソンといった文化芸術スポーツなどの魅力ある事業の効果を検証しながらブラッシュアップしていかなければと考えています。

各分野における今後の取り組みについて

議員　・子育て支援について
老朽化による道の駅「霊山たけやま」にある「ぼうけん砦」の撤去後に遊具の新設を望む声が多数あるが、町長の考えは。

町長　近隣の道の駅には、最新の遊具や広場などが整備され、子育て世代のご家庭がそれを目的に休日を中心に来場しています。

町としてもぼうけん砦跡地、こども館前の広場への遊具設置を含めた幅広い用途を検討し、施設整備を行いたいと思います。

議員　・観光、商工分野について
中之条町商工会からの要望である「事業継続補助金」の拡充について、対象者枠の拡大はできないか。

町長　この補助金は、町の単独事業であります。物価高騰や人手不足など町内事業者を取り巻く経営環境の変化を踏まえ、事業者のニーズや利用実績を検証しながらより効果的な支援制度となるよう検討してまいります。

農山村の地域づくりの基本的理念と未来像は

一般質問

町長－地域の実情を受け止め、今の世代と未来の世代が共に暮らしてよかったと感じられる地域づくりを目指します



割田三喜男 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

共創のまちづくりについて

議員 集落の縮小と変容的受容（撤退）をどう考えるか。

町長 集落の縮小は人口減少と高齢化が進む中で、直視すべき現実であると認識しております。町としては、住民の安全と暮らしを守りながら、地域のあり方を再構築する課題であると捉えています。地域の実情と将来見通しを共有し、住民の皆さんと共に考え、維持すべき機能は、広域的な連携や代替手段を確保するとともに、厳しい判断を先送りしないことが町としての覚悟であると考えています。

議員 各地域で多機能型拠点整備が急務であるが、整備工程はどうか。

町長 地域の実情に応じたオーダーメイドの支援を基本としてまいります。課題の優先順位は地域ごとに大きく異なることから、地域ごとに必要な機能を整理した上で地域の実情に即した支援策を充実させていきたいと考えています。

地域公共交通計画について

議員 地域組織が主体となる「助け合い移送サービス」の検討状況はどうか。

町長 町全体の移動手段として様々な事業を展開していますが、助け合い移送サービスについても将来に向けての一つの手段として関係各課と情報を共有するなどして移動手段の確保に努めてまいりたいと思います。

森林経営管理制度について

議員 森林管理制度の進捗状況と課題は何か。

町長 意向調査は、令和元年度から始め、これまでに1180人（約9割）の方から回答をいただいています。そのうちの23％が自分で管理、3％が林業事業者に委託、72％が町に委託したいと回答しています。意向調査が済んだのは民有林全体の12％で、町が所有者から管理を引き受けた「集積計画」山林は山林全体の1％です。このうち、事業者に施業していただく「配分計画」を設定した山林は、わずか0.6％です。この結果から、調査は実施したものの、森林整備に繋がっておらず、その理由は、林業事業者が不足しているためであり、それは、委託期間が20年と長いこと、急傾斜の山林が多く経費がかさみ利益を生みにくいことが理由と考えます。

自治体の業務が変化している中、住民福祉の向上をどう図るのか

町長－「人」を基本とした「共創のまちづくり」で、住民福祉の増進やまちづくりを図っていくことが最重要であると考えます



原沢　香司 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

議員 「地方行革」により窮地にある状況で、今後の自治体業務をどう進めていくのか。

町長 人口減少、少子高齢化、限られた財源や人材といった厳しい環境下において、いかに住民一人ひとりのニーズに応え、きめ細やかな支援を提供していくのか、「共創のまちづくり」で相互に協力し合い、助け合いながら地域づくりを実践していくという基本理念でおります。時代は変わっても、古くから培われてきた伝統や文化・風土は、大切に後世へ残すべき遺産であります。派手さはなくても住民が幸福を感じられる町であり続けられるよう、努めてまいります。

地域経済の活性化について

議員 地元中小企業・小規模企業の経営を守るために「公契約条例」を制定すべきではないか。

町長 労働者の生活安定や権利保護、公共サービスの質の確保に加え、地域経済の活性化など広義的な意味では条例制定の意義は大きく、その必要性も理解できます。一方で、県内の状況等を考えると条例制定に向けた広がりが少数である側面もあります。そういった状況の背景に何があるのか、障害となっているものや課題があるのか研究する必要があると考えています。

自然保護と活用について

議員 野反湖の高山植物をニホンジカの食害から守るための対策は。

町長 野反自然休養林保護管理運営協議会が中心となり、国、県、地元企業と協力して、野反湖を含む芳ヶ平周辺地域においてニホンジカの調査を実施しています。町の対策としては、鳥獣被害対策実施隊と協議会が協力し、くくりワナを設置して捕獲対策を実施しています。

議員 自然環境保護と活用を進めるために入山料や駐車代金の徴収を検討すべきでは。

町長 全国の事例を研究し、その重要性を十分に理解して、多角的な視点から慎重に研究をし、進めていきたいと考えているところです。

人口減少による影響で、今後想定されることは

町長－サービス産業の衰退が進み、生活に必要な品やサービスが入手困難になるなど日々の生活が不便となる恐れがあります



山田みどり 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

議員 人口減少による影響はすでに出ているが、どのような対策をしているか、またその効果は。

町長 新規就農者支援や事業継続支援などの産業振興と雇用や創業の支援、移住・定住を促進する取り組みによる若い世代の流出抑制と転入の増加や結婚・出産・子育てを切れ目なく支える環境整備、中之条ビエンナーレなど地域資源の活用や関係人口の拡大にも取り組んできました。これら個別の施策による効果を明確に切り分けることは難しいですが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2018年に比べ2023年では減少がわずかに抑制されています。移住者の増加により人口の社会増減について、令和元年以前はマイナス100人を上回ることがほとんどでしたが、令和6年はマイナス11人、令和7年はマイナス29人となっています。

議員 職員の働き方について男女比はどうなっているか、また男性の育休については。

町長 本年4月1日現在の男女比は、派遣職員・再任用者を除く一般職・任期付職員・医師の職員211人のうち、男性110人、女性101人です。管理職は、24人のうち男性18人、女性6人という状況です。

総務課長 育休の取得は、令和7年度で12人うち、男性は2人です。男性の場合は、短期的な取得になります。

幼児教育について

議員 少子化だからこそ、幼児教育の充実を図るべきと考えるが。

教育長 少子化を単に「施設の利用者が減少する」という問題としてとらえるのではなく、子ども一人ひとりにより丁寧に関わり、その育ちを支える教育・保育の質をどのように高めていくかという視点が重要であると考えています。教育を担う幼稚園と保育を必要とする子どもを受け入れる保育所が、それぞれの役割を踏まえながら保護者が安心して子育てと仕事を両立できる環境を整え、子どもの育ちにとって何が大切かという視点で教育・保育の充実を図る必要があります。現在、町では、今後の幼児教育のあり方について検討委員会を設置し、検討を進めています。

快適なシニアライフへ向け高齢者の運転寿命延伸を

町長－加齢により自動車運転免許証を返納した方等に電動歩行補助車の貸し出しをしています



福田　弘明 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから

議員 免許返納より親がどんな薬を飲んでいるのか心配しなさいとの話がある。薬の1／4には運転に影響を与えるものがあるとされる。このことへの注意喚起が必要ではないか。

町長 薬を処方されるときや購入するときは、医師からの注意をよく聞くことや効能書きに書いてある注意をよく読むことは必要ですが、うっかり読まずに飲んでしまうこともありますので、注意喚起的なことは必要であると痛感しています。町としては、必要な治療を妨げないよう配慮しつつ、自己判断せず医師や薬剤師に相談いただくことを基本に機会をとらえて周知・啓発に努めます。

議員 サポートカー限定免許対応の自動車購入に補助を。

町長 国においては、令和2年から3年にかけて経済産業省によるサポカー補助金制度を設けるなど安全運転支援装置を備えた自動車の普及に取り組んでいるところです。現在、サポートカー限定免許の普及率は全国的に極めて低く、本町においても取得者は確認されていません。しかし、サポートカーの普及率が高まってきていることから今後サポートカー限定免許を取得される方やサポートカーに乗り換える方が増加する可能性もありますので、サポートカー限定免許制度の利用状況や町民のニーズ等を踏まえ補助制度の必要性について研究したいと考えています。

議員 免許返納後でも車道を20㎞で走れる特定原動機付自転車の普及を進めたらどうか。

町長 特定小型原動機付自転車は、公道を走行する道路交通法上の車両であり、運転者には一定の運転操作能力と交通ルールや関係法令の理解が求められます。特定小型原動機付自転車の特性を踏まえ、対象となる高齢者の安全性を最優先に考え、本町にふさわしい高齢者の移動支援のあり方について総合的に検討してまいりたいと考えています。

議会の主な活動

＜令和８年度＞

(１)　8月19日　西吾妻福祉病院組合監査（長野原町）
(２)　26日　議会運営委員会・全員協議会（役場）
(３)　27日　吾妻広域町村圏振興整備組合議会第2回定例会（役場）
(４)　28日　観光計画策定委員会・講演会（役場）
(５)　28日　第65回吾妻郡民スポーツ大会中之条町選手団結団式（役場）
(６)　9月2日　9月定例会議第1日目（本会議）（役場）
(７)　3日　9月定例会議第2日目（一般質問）（役場）
(８)　7日　総務企画常任委員会（役場）
(９)　8日　文教民生常任委員会（役場）
(10)　8日　第53回吾妻地区「知的障害者福祉月間記念行事」（役場）
(11)　9日　産業建設常任委員会（役場）
(12)　12日　六合赤岩重伝建ふれあい感謝祭（六合保健センター）
(13)　17日　9月定例会議第3日目（本会議）（役場）
(14)　17日　議員定数・報酬検討特別委員会（役場）
(15)　18日　中之条町戦没者追悼式（バイテック文化ホール）
(16)　19日　秋の忠霊塔「慰霊祭」（沢田忠霊塔）
(17)　24日　国道405号未供用区間開設促進期成同盟会令和8年度総会（新潟県津南町）
(18)　25日　シラネアオイ群生地保全活動（野反湖）
(19)　28日　西吾妻福祉病院管理運営協議会・組合議会臨時会(長野原町)
(20)　30日　議会改革推進特別委員会（役場）
(21)　30日　東部衛生施設組合議会（役場）
(22)　10月1･2日　「地域に開かれたダム」全国連絡協議会現地交流会（町内）
(23)　7日･8日　中之条町慶朗会（バイテック文化ホール）
(24)　9日　議会広報特別委員会（役場）
(25)　10月13･14日　文教民生常任委員会視察研修（茨城県）
(26)　16日　第1回吾妻地域保健医療対策協議会（吾妻保健福祉事務所）
(27)　20日　ワールドカフェ（地域おこし協力隊員との意見交換会）（役場）
(28)　20日　議会広報特別委員会（役場）
(29)　22日　栃木県塩谷市町村議会議長会視察（役場・美野原小水力発電所）
(30)　25日　中之条町消防団秋季点検（シルクパーク）
(31)　29日　群馬県町村議会議員研修会（玉村町）
(32)　11月9日　第12回まちなか5時間リレーマラソン第2回運営委員会（ツインプラザ）
(33)　11日　烏帽子山植林組合議会(東吾妻町)
(34)　13日　吾妻郡町村議会議員研修(長野原町)
(35)　13日　上信自動車道建設促進期成同盟会群馬県要望（県庁）



(12) 六合赤岩重伝建ふれあい感謝祭



(23) 中之条町慶朗会

今回の表紙は

蟻川・熊野神社で行われた秋の例大祭での１コマです。祭典開始前に、蟻川保存会のみなさんによる獅子が本殿を７周します。その後降り出した雨で、予定していた獅子舞を舞うことはできませんでした。周囲の田んぼが実り黄金色に輝く中、農作物の実りへの感謝が捧げられました。棚田や蟻川川に近い熊野神社では春と秋に例大祭が行われ、地域の人たちだけでなくカメラを下げた写真ファンの人たちもシャッターチャンスを狙いに訪れます。大切にしていきたい、地域のお祭りです。

：編集後記：

今年の猛暑は気づけば７月には鳴りを潜め、８月以降は台風が多く、中之条町でも雨の日が続きました。姉妹都市である千葉県大網白里市をはじめ、各地で豪雨災害などに遭われた方へ心よりお見舞い申し上げます。

気候災害は、人命だけでなく農作物の生育・道路や河川など生活インフラへも影響を及ぼします。気象庁の防災気象情報が刷新されましたが、私たちも日常的に防災意識をしっかり持って備えをしていかなければなりません。

同時に、地球温暖化によって豪雨リスクが高まっていることも明らかになってきています。安心・安全で暮らし続けられる地域づくりには、気候危機への対応も必要です。私たち議会でも、防災の議論と合わせて気候変動への対策に知恵を合わせていけるようにしていかねばと思っています。

原沢　香司

議会広報特別委員会

委員長　佐藤　力也
副委員長　山本　修
委員　原沢　香司
福田　公雄
割田三喜男
小栗　芳雄

発行／中之条町議会　〒377-0494　群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町1091　☎0279-75-8836
◆議会メールアドレス　gikai@town.nakanojo.gunma.jp　◆中之条町公式サイト　https://www.town.nakanojo.gunma.jp/
印刷　西毛印刷株式会社